



県町村議会議員研修会

(令和6年10月25日)

山形国際交流プラザ山形ビッグウイングにおいて、弁護士の大田雅幸氏より「議会が守るべき政治倫理、ハラスメント防止と議会の取り組み」、また、一般社団法人地方公共団体政策支援機構上席研究員の長内紳悟氏より「議事機関としての質疑・質問とは」と題した講義をしていただきました。

議員としての識見を広め、質の高い質疑・質問をするための手法・考え方を学ぶことができました。

このたびの研修をこれからの議会活動に活かしてまいります。

産業振興常任委員会 所管事務調査

- 期 日：令和6年11月19日（火）
- 調査内容：令和6年度所管各課の主要事業の進捗状況
 - まちづくり課
 - 舟形町総合発展計画策定事業
 - 4月1日に後期短期アクションプラン策定委員会を設置した（委員20名）
 - 住民主体の地域づくり事業
 - 地域運営組織の活動経過、設立支援状況報告
 - 「次期各地区びじょん」作成事業
 - 各地区で視察やワークショップを行いながら、地区の取組みを検討中
 - 公共交通事業（デマンド型乗合タクシー）
 - 直近までの予約システム利用状況、利用者数の実績推移の報告
 - 農業振興課
 - 鳥獣被害対策事業
 - 今年度の農作物被害状況
 - 鳥獣被害防止総合対策交付金（国）及び山形県鳥獣

主要事業の進捗状況を確認

- 被害対策推進事業等の活用状況の説明
- 「産直まんさく」の運営状況
 - オープンから5か月経過し来客数は16,826人
 - 売り上げ実績2,092万円、月平均418万円（月目標420万円）、③売り上げ増に繋げるために各種イベントの開催、キャッシュレス決済の導入、SNSを立ち上げ情報発信の強化等を実施した
 - 所 感
 - まちづくり課
 - デマンド型乗合タクシーについては、買い物等のための利便性向上が必要である。
 - 農業振興課
 - 鳥獣被害対策実施隊が減少する中、報酬を含め待遇の見直しが必要である。
 - 産直まんさくは、冬季間地元野菜等の減少が想定される中、会員各位の努力と更なるイベントなどのPRを行い集客に努める必要がある。

産業振興常任委員会 行政視察

- 期 日：令和6年12月13日（金）
- 目 的：
 - 地域運営組織及び6次産業化の取り組み（庄内町）
 - 地域おこし協力隊の受け入れ態勢と活動内容（遊佐町）
- 視察場所
 - 立谷沢まちづくりセンター（庄内町）
 - 遊佐町役場

現地視察概要

 - 立谷沢まちづくりセンター
 - 立谷沢地区地域運営組織を立ち上げるに至った経緯
 - 指定管理者制度を導入した経緯・町側のメリットについて
 - 地域運営組織に町として期待する事、将来像について
 - 立谷沢地域活性化センター「タチラボ」
 - リノベーションで6次産業化の拠点整備、地域おこし協力隊が地域住民とコラボレーションし、地場産の素材を使った商品開発に向け、試作・研究を行っている事例の説明。
 - 施設の内容紹介
 - 6次産業化共同利用加工場【旧保育園1階を整備】
 - 暮らす▶定住促進住居【旧保育園2階、旧駐在所を整備】
 - 語らう▶会議室（大、小）【旧保育園1階を整備】
 - 施設整備の概算事業費の説明
- 遊佐町役場
 - 地域おこし協力隊の受け入れ体制について
 - 雇用形態について
 - ア、任用形態は委嘱のみとなっている（雇用契約なし）
 - イ、住居は町で借り上げ費用負担、暖房灯油代

先進地の現状を確認

- は月額5,000円以内の実費を補填
ウ、車は1台貸与（町でリース）、ガソリン代は月額20,000円以内の実費を補填
- 活動内容について
 - 活動への町の関わり方について
 - 業務は所管する係と一緒に進める
 - 業務に必要な費用は（活動費）全て町の予算に計上
 - 協力隊の生活全般のフォローアップは担当課、係が行う
 - 任期満了後の定住状況について
 - チャレンジ遊佐定着支援金、最長2年間支給（月額8～10万円）
 - 起業等支援補助金（起業のための資金100万円補助）
 - 所 感
 - 立谷沢まちづくりセンター
 - 庄内町では平成19年から指定管理者制度導入によるガイドラインを制定し、令和3年に公民館のコミュニティセンター移行基本方針が策定され、令和5年10月に地域運営組織が設立された。
また施設内の加工設備に関しては、町で整備を行い地域住民が、地域の素材を使った加工品を製造販売している。
当町においては、遊休の加工施設を有効活用し地元素材を使って、商品を開発することができないか、参考にして模索する必要がある。
 - 遊佐町役場
 - 令和6年12月現在8名の隊員が活動を行い2名が委嘱準備中、さらに5名を募集している。退任済み協力隊21名中、10名が町内に在住しており遊佐町は協力隊に対して身分、財政支援、福利厚生が整っている。
当町においても支援体制や福利厚生について課題を検証し、参考にすることが必要である。

議会のつぎ

- 10月
- 10日 議会広報常任委員会
 - 16日 議会運営委員会
 - 17日 第16回議会改革特別委員会
 - 25日 議会広報常任委員会
 - 27日 町制施行70周年記念式典
 - 31日 第23回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会（新庄市）
- 11月
- 2日 町制施行70周年記念第32回舟形町東京友の会総会（東京都）
 - 11日 議会報告会
 - 13日 第68回町村議会議長会全国大会（東京都）
 - 15日 令和6年度最上地域ふさと連合会総会（東京都）
 - 19日 産業振興常任委員会
 - 20日 議会運営委員会
 - 27日 議会運営委員会
- 12月
- 2日 全員協議会
 - 4日 12月定例会（～6日）
 - 6日 議会広報常任委員会
 - 9日 中央要望会（東京都 衆議院 参議院議員会館）
 - 11日 教育懇談会
 - 13日 産業振興常任委員会行政視察（庄内町・遊佐町）
 - 18日 議会広報常任委員会
 - 25日 第3回臨時会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

議会だよりふながた の表紙写真を募集します。

「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。

■応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。

■問 合 せ：舟形町議会事務局 32-0030
gikai@town.funagata.yamagata.jp

表紙のことば

舟形町ではわら細工芸愛好会が昭和61年から始まり、現在は長沢生涯学習センター内で週1回教室を開いています。講師として、97歳の八木朝吉さんと、他2名の方がわら細工の技術を教えており、12月にはしめ飾りの製作をしました。町内からの参加だけでなく、遠くは横浜市や仙台市、県内では天童市、朝日町など、インターネットの情報で教室を知り、参加しているようです。

今後も舟形町の宝であるわら細工の技術の伝承を続けていっていただきたいと思っています。

(小国 浩文 撮影・記)

次回の定例会は3月上旬に開催される予定です。